

視察園概要

2

視察場所：遠田郡涌谷町字六軒町15

TEL：0229-42-2916

会社名：(株)黒澤 代表 黒澤 信喜

従業員数：14名 農場長：黒澤 秀光

1. 経営内容

- 施設野菜（小ねぎの専作）による周年栽培。

J A みどりの仙台小ねぎ部会所属。

J A みどりの仙台小ねぎ部会概要

- ・「白ねぎ」主体の食文化を持つ東北において、昭和58年に新規園芸作物として青ねぎを導入。
- ・当初は、ほうれんそうの連作障害の回避のため、輪作作物として小ねぎの生産を開始したが、徐々に拡大。
- ・「元気のでる涌谷の野菜」を合い言葉に、(旧)涌谷町農協小ねぎ部会を設立。部会設立から20年を経て、関東以北最大の青ねぎ産地として成長する。平成17年から全国の主産県（福岡・高知・大分・佐賀・宮城）に数えられるまでになった。
- ・会員：42名。ハウス約650棟（16.5ha）。500t/年出荷。3億7千万円

・栽培規模

ハ°17°ハウス50棟（75坪/棟） 約1.2ha × 年3作。

年商：3千万円余

2. 法人化するまでの経過

以前は、妻と二人で、水稻2haと小ねぎ栽培の複合経営であったが、平成19年5月に長男がその後、次男も就農し、平成24年11月に会社を設立した。



3. 経営の特徴

- ・「仙台こねぎ」ブランド基準の厳守

- ① 計画生産販売のため、部会と部会員が栽培契約書を締結。
- ② 栽培用ハウスは、部会に登録し、周年小ねぎのみの生産とする。
- ③ 共同による調整作業施設（皮むき機）の利用。
- ④ 有望品種の検討と土壌対策班による連作障害の回避。

- ・アットホーム的な職場作り

5. 出荷販売先と販売促進活動

- ・全量農協出荷。
仙台や関東市場へ出荷。福島や秋田市場へも販路拡大。
- ・「仙台小ねぎの里わくやプロジェクト」による消費拡大。
地元高校生によるメニュー開発と飲食店での提供（小ねぎフェア）等。

6. 今後の経営目標（将来の展望）

- ・日々努力～小ねぎは、まだまだ新しい作目であり、技術の改良の余地があり、長く作り続けるためにも土壌改良が今後も課題。



7. 新規参入者希望者へ一言

まずは、うちで働いてみすっぺ！